

# ハンガリー保育研修報告

—人口 1000 万人から成る国家の保育と教育—

## Hungarian Childcare Study Report

—Childcare and Education in a State of Only Ten Million People—

渡邊 さらさ

Sarasa Watanabe

### 目 次

- I. はじめに—本学子ども学科における多文化保育とハンガリーの保育と教育
- II. 保育研修—5つの園とエルテ大学授業、コダーイ研究所見学
  - 1. マイバ乳児園・マイバ保育園
  - 2. グドゥルー大学附属幼稚園
  - 3. エルテ大学附属幼稚園、及びエルテ大学授業
  - 4. ケチケメート専門大学附属幼稚園、コダーイ研究所見学
- III. バレエ鑑賞、王宮、国会議事堂見学ほか
  - 1. ハンガリー国立オペラハウスでのバレエ鑑賞
  - 2. ゲレルト温泉と王宮
  - 3. 国会議事堂、くさり橋など
- IV. 研修を終えて

### I. はじめに—本学子ども学科における多文化保育とハンガリーの保育と教育

近年、日本国内において外国人移住者が増加するのに伴い、生活様式や考え方の違い、「多文化」によって起こる問題が顕在化してきている。これは保育や学校教育の現場でも例外ではない。各都道府県市町村でも、近年の国際化をふまえ、多文化共生、国際交流、国際協力などの関連施策が数多く実施されている。

本学子ども学科では、こうした社会に適応した能力を持つ保育者を育てようと平成 19 年の開学科以来毎年、「多文化保育」「多文化保育演習」という授業を開講し、この授業の一環でスウェーデンや中国で海外保育研修を行ってきた。本研修はこの授業とは関係はないが、この流れから平成 22 年度は、ハンガリーで保育研修を計画し執り行うことになった。

ハンガリーは、6 歳から 18 歳まで義務教育で、授業料もほぼ無償であり、教育に力を入れている。人口 1000 万人の国でありながら、14 人のノーベル賞受賞者を輩出しており、この数は人口の割合から考えると世界一であるということからも、ハンガリーという国が

一際、教育に力を入れてきたことの証明になるであろう。幼児教育の分野、特に音楽教育分野ではドイツのオルフ<sup>1</sup>、スイスのダルクローズ<sup>2</sup>と並ぶ、わらべうた、民謡研究者であり教育家であるコダーイ・ゾルターン<sup>3</sup>を輩出した国でもある。

研修は、平成23年2月27日（日）から平成23年3月8日（火）までの10日間の日程で日本でも近年注目されつつあるハンガリー独自の「マイバの教育プログラム<sup>4</sup>」を実践するマイバ保育園での保育研修と、コダーイ音楽教育を積極的に行っている保育園での見学を重点に置き、ハンガリーの首都ブダペストと、郊外にあるケチケメートという村で実施することになった。

研修では5ヶ所の乳児・幼児保育園での見学と研修の他、エルテ国立大学で保育者養成コースの授業に参加、コダーイ研究所を訪問した。また、身体表現、音楽表現、造形表現を極めた芸術であるバレエの鑑賞や、異国の歴史や文化への理解を深めるために、歴史的建造物の見学などを行った。

訪問場所：マイバ乳児保育園（1歳～3, 4歳）Mályva óvoda (Mályva alapítvány)

マイバ幼児保育園（3歳～6, 7歳）Mályva óvoda

グドゥルー大学、及び附属幼児保育園 Gödöllő Egyetemi téri óvoda

エルテ大学、及び附属幼児保育園 ELTE Gyakorló Óvoda

ケチケメート専門大学、及び大学附属幼児保育園

Kecskeméti Főiskola és Gyakorló Óvoda

コダーイ研究所 Kodály Institute

ハンガリー国立オペラハウス Opera Ház

国会議事堂、王宮、ゲレルト温泉など

## II. 保育研修—5つの園とエルテ大学授業、コダーイ研究所見学

### 1. マイバ乳児保育園・マイバ幼児保育園

「マイバの教育プログラム」の特徴として、くるみの木教育研究所<sup>5</sup>では、①流れる日課、②異年齢児混合クラス、③遊びと学習の統合、④学習の領域の統合、の4つを挙げている。①の「流れる日課」で重要とされる点は、子どもたちが、自分の能力、レベル、テンポ、欲求（必要性）にあわせて、日課の中で生活できるところにあるという。その結果、子どもたちは自分のテンポで行為することができ、急がされることもなく緊張せず過ごすことができ、クラス全体が落ち着くという。③の遊びと学習の統合では、子どもたちは遊びの中で後々学校の学習で必要となる様々な能力を発達させていくということをふまえ、大人が計画を立てた様々な活動も、子どもには楽しい課題と思えるように提供していくという。

## (1) マイバ乳児保育園

ブダペスト14区全体の園長を務めるキシュ先生からマイバの保育についての講義を受け、園内を見学、その後昼食を取る子どもたちの様子を見学した。

ここでは、一斉に「いただきます」と昼食を同時にとる日本と違い、手を洗い準備の出来た子どもから順に昼食をとり、歯を磨き、お昼寝の準備をするという「流れる日課」の実践を見学することができた。

また、子どもに最初に与えるべき遊具の重要性についての講義や、キシュ先生から学生自身になぜ保育者を目指すのか、といった内容の濃い質問を向けられた。自身も保育士であり、マイバ保育園で3年間研修を積まれたサライ美奈氏からも、保育士ならではの鋭い視点と考察を伺うことができた。最初は緊張気味であった学生たちも、次第に学習に集中していく様子が見られ、大変充実した研修であった。



豊富な遊具が備えられている遊具室



鏡台はどここの部屋にも



受け入れ室－身支度を世話する部屋

## (2) マイバ幼児保育園

「流れる日課」「異年齢児混合クラス」と基本的なマイバの教育プログラムの形態は同じであるが、幼児保育園では「課業」を行うことが義務付けられている。

幼児保育園の中で1年間に5つの課業を行う必要があると保育指針（国の教育プログラム）で決められているが、それをどのような流れでどのような方法で行うかは園で決める事ができる。大きくわけて5つに分類される。（①環境認識 ②音楽－わらべうた ③文学 ④体育 ⑤描画－手工芸）

見学では、①環境認識の「人間の仕事を調べる」という課業が行われていた。部



段ボール箱から取り出された仕事道具

屋には仕事に関連する遊具（消防車の車やホース、おもちゃのコンピューターなど）や、保育者は子どもたちの家族にこの課業を行うことを事前に話し、子どもたちの家族の者の仕事に関連する道具を収集している。子どもたちは、事前学習として郵便局を訪問しており、郵便局の仕事について勉強している。



警察官に扮する子ども

この課業では、導入として郵便局員に扮したバスの運転手が大きな段ボールを持って「お届け物です」と訪れる。その段ボールには先に収集した道具が入っており、保育者はそれをひとつひとつ箱からだし、「これは何に使う道具か知っている？」「〇〇ちゃんのお父さんはこれを使ってお仕事しているのね」などと声をかける。この際、一つひとつの言葉がけに、子どもの注目力、記憶力、言語発達、社会性をどう発達させていくかなどに気を配り、会話をすすめる。

保育者の言葉がけはどれにも目的があり、また授業をすすめる上で子どもの注意力、集中力を発達させるために小さな演出にも事欠かない。すべてが計画的に行われているこの課業に学生たちは静かに見入っていた。

クラス、保育士	すずらんグループ ブルカーン・チッラ先生
課業、テーマ	環境認識、人間の仕事
課業の課題	まわりで働く人たちの職業、仕事を知る。 出会った仕事の大切さ、影響
この課業の前の経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体のテーマの中で医者、薬やの仕事を取り上げた</li> <li>・消防署見学</li> <li>・保育園で働く人たちについて</li> <li>・郵便局、キオスクの見学</li> <li>・車の修理工場の見学</li> <li>・カーニバルのテーマ「大きくなったら何になる？」</li> </ul>
準備、収集	本、新聞、遊具、道具、仕事道具、役割あそびの道具
方法	会話 注目（かんさつ） 何かについての会話 点検、練習
能力の発達	注目力－アッティラおじさん（郵便やさんのまねごと） 記憶力－見学を思い出す 言語発達－伝える 社会性、視覚 メタコミュニケーション 仲間感覚の発達

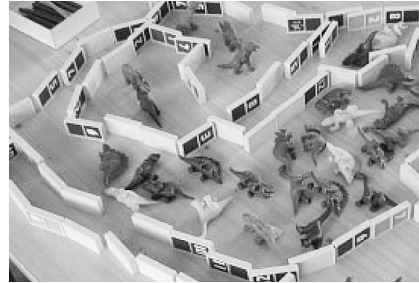
課業の見学時に配られた資料



また、他のクラス部屋では同じ①環境の領域課業で「どんな動物がいるか」を学んでいた。「どんな仕事があるか」について学んでいたクラスと同様に動物に関する遊具が数多く用意され、壁にはさまざまな動物の写真がたくさん貼られていた。



環境認識「どんな動物がいるか」を学ぶ



動物に関連する遊具

## 2. グドゥルー大学附属保育園

ここでは特に研修を受けるという形ではなく、子どもたちとの交流を目的に、また園の要望もあって、子どもたちと折り紙制作を行った。園内の様子は、マイバと同じように、色々なコーナーに、様々なおもちゃが配置されていた。



子どもと折り紙で交流



人気のあったペンギンとカエルを協力しあい制作



## 3. エルテ大学附属幼稚園、及びエルテ大学授業

エルテ大学附属保育園では音楽の課業を見学し、子どもたちと折り紙の制作、その後大学の会議室で質疑応答の時間が設けられた。音楽の課業では、ハンガリー民謡、わらべうたを中心に保育者がこどもを膝の上に乗せ歌うことから始まり、だんだんに子どもたちが集まってきてから皆でうたあそびを始めた。マイバでの課業とのすすめ方とも違いが見られ、比較をすることもでき興味深い点も見られ



わらべうたを歌いながら遊ぶ様子

た。(エルテでは、こどもの集中度が低いように感じられた)うたは子どもの声帯も考慮され6度まで(ドからラまで)の曲ばかりを取り上げていた。

エルテ大学では、保育者と小学校教諭養成コースの音楽の授業に参加した。ハンガリー人学生は積極的に本学の学生と関わろうと、授業への参加を促してくれ、その様に学生自身も大変喜び、感動した様子だった。コダーイメソッドのハンドサインをまねたり、ハンガリー特有の下半身を中心にしたダンスをし、授業では学生自身も興奮した様子であった。



コダーイのハンドサイン



エルテ大学 会議室での質疑応答



大学で音楽の授業に参加

#### 4. ケチケメート専門大学附属保育園、コダーイ研究所見学

ケチケメートは、ブダペストから南へ86キロほどの所に位置し、コダーイ・ゾルターンの出生地としても有名な街である。そのためか、音楽教育が盛んで周辺の幼児保育園でも音楽教育に力を入れている園が多い。



この園でも、音楽の課業を見学した。馬に乗って獲物を追いかけるわらべうたで遊んだあとに、保育者は1曲アカペラで歌い、課業を終えた。本学がこの園を訪れたのは3月4日で、保育者がこの時歌ったのは3月15日のハンガリーの建国記念日にちなんだコシュート・ラヨシュ<sup>6</sup>を讃える歌であった。このあとの会議

室での質疑応答で保育者は、ハンガリー国民は1000万人で、決して国土面積の上でも大国ではない、他の何の言語とも似つかないハンガリー語を伝承していくのはハンガリー国

民しかおらず、そのためハンガリーでは自分たちの文化、言語を伝承してゆく子どもたちへの教育に関して熱心なのだと言った。

この後、大学の教室に移動し、コダーイ音楽教育について音楽教員から講義を受け、午後からコダーイ研究所の見学を行った。



大学教室での講義

### Ⅲ. バレエ鑑賞、王宮、国会議事堂見学ほか

園や大学での保育研修の他に、身体的表現、音楽的表現、造形的表現を極めた芸術であるバレエの鑑賞や、異国の歴史や文化への理解を深めるために、歴史的建造物の見学などを行った。

#### 1. ハンガリー国立オペラハウスでのバレエ鑑賞

演目はドストエフスキーの「カラマゾフの兄弟」に、ラフマニノフ、ムソルグスキーらのロシア音楽を付随したオリジナルの演目であった。事前に物語の内容を学習し、ホテルから歩いて10分ほどの所にあるオペラハウスへ向かった。内容は少々難しいものであったが、それでもなかなか味わえない非日常空間での鑑賞に学生は興奮ぎみであった。



#### 2. ゲレルト温泉と王宮

ハンガリーは温泉大国でもあり、ブダペスト市内には4か所の大きな温泉がある。ゲレルト温泉はその中の1つで、訪れた時期がまだ冬期であったため、室内の温泉のみ使用できた。温泉の後、王宮へ向かい、日暮れ時のマーチャーシュ教会、漁夫の砦からブダペスト市内を一望することができた。王宮では、ハンガリーのお祭りなどの時によく出店で食べる事ができるクルトッシュカラーチというドーナツを食べ、学生の喜ぶ顔が見られた。





王宮



漁夫の砦より

### 3. 国会議事堂、くさり橋など

その他、1956年のハンガリー動乱の舞台ともなった国会議事堂、旧リスト音楽院校舎内にあるリスト博物館、ドナウ川沿いに歩き、ガイドブックの表紙にもよく使われる鎖橋周辺などを散策した。

現地ではコーディネーターをしてくれた桑名一恵さんに、ハンガリー料理とハンガリー舞踊を楽しむお店に連れていってもらった。その夜は保育園研修の最終日ということも拍車をかけ、学生たちは異国にいる時間を楽しもうと他の外国人観光客とともにダンスを楽しみ、積極的に交流する姿がみられた。



国会議事堂前にて



王宮と鎖橋を背景に



ハンガリー料理とハンガリー舞踊を楽しむ



## VI. 研修を終えて

今回、参加した学生は全員1年生であった。学生は日本での保育経験が、昨年12月に保育園で行った「半日実習」しかなかったため、研修先で保育に関する深い質問をされると多少たじろぐ様子が見られた。しかし、日に日に研修に対する姿勢が積極的、かつ生き生きとした様子になっていく変化が見られた。学生たちも研修後に、保育に関する話をする時間が増え、経験と知識がまだまだ不足ながらも、様々なことを感じ、考えをめぐらせるように成長しているのが感じられた。

この研修では、保育士で、ハンガリーで3年間マイバの教育プログラムを勉強し、現在ケストハイという地方の村でハンガリー人の旦那様と三人の息子さんと暮らしていらっしゃるサライ美奈さんという方に通訳の大半をお願いした。私見ではあるが、サライさんはプロの保育士としての意識が大変高く、指導者としても大変思慮深い質問を学生に投げかけて下さり、今回の研修旅行が成功を取めたのはこのサライさんのお蔭であるといっても過言ではないと感じている。保育士として求められる事を学ぶために、真剣な態度で臨んでほしいということをまっすぐに伝えて下さり、最初は消極的であった学生たちも、次第にサライさんに対する尊敬の念から、質問も積極的に投げかけていくようになった。この変化は大変喜ばしいことであったと思うし、また私自身も一指導者として学ぶことが多い経験となった。サライさんは、平成23年1月から本学の研修に入る2月末までに既に6件の研修を行い、その多くは幼稚園の設立を予定している会社や、保育士の団体を対象だったそうである。短大の学生対象とした研修は、これが初めてであったというが、何もわからない学生に一から教えていくことの大変さを知り、サライさん自身も課題を見つけ、一番印象の強い研修となったという。

エルテ大学では、同じ年代の学生と交流を持つ事ができた。ハンガリー人学生は大変積極的で、教授が「踊りましょう」というと自分が日本人と2人一組になろうと我先にと寄ってきてくれた。また、歌も大変美しい声で歌い、踊りも楽しそうに踊り、その雰囲気にも本学の学生も大変喜び、一緒になって楽しむ様子が見られた。

授業後、本学の学生たちは良い意味での大きなショックを受けたらしく、「あれが本当の学生なんだよね」「本当は自分自身が変わらないとね」と口々に話していた。保育の研修は、日本の保育システムに対する知識も経験も少ないままにいったため、学生たちには難しい内容もあったと感じられた。しかし、このような同年代の異国で学ぶ学生との関わりも、学生にとっては大変良い刺激になったであろう。また、今回の研修を成功へと導いてくれたもう一人の日本人スタッフ、桑名一恵さんにも感謝の言葉を送りたい。時差ボケの残る中、慣れない食事と連日朝早くから始まる研修に疲れ始めていたところに、おにぎりとお餅焼きを作ってきてくれ、彼女のとにかく明るく活発な性格が皆の疲れを吹き飛ばしてくれることも多々あった。また、彼女が招待してくれた研修最終日のハンガリー料理レストラン

ンは、何より学生たちにとって楽しい思い出として残ったようだ。

学生6人中、5人が初の海外ということで、心配もあったが、日に日にホテルの周りの地理にも明るくなってきたので、明るい時間に一日2、3時間という短い自由時間を設けたりもした。小さな経験ではあるが、こういったことも学生たちにとっては大きな感動があったようだ。

私自身はピアノ音楽を中心にハンガリーへ3年間留学し、完全帰国してから5年半ぶりのハンガリー入りとなった。少し時間を置いて、改めてハンガリーという国を見つめ直す機会になり、新たに気づかされる事、感動させられることが多々あった。侵略、占領、支配と抑圧の歴史がくり返され、常に自国のアイデンティティーが脅かされてきたハンガリー国民。自国の言葉、伝統、文化、精神を守ろうとする個々の熱い思いを改めて感じると共に、その強い思いが保育、教育に生かされているのだと感じた。また私の留学は作曲家バルトーク<sup>7</sup>の研究の流れであったが、今回は保育研修の関連からコダーイの音楽に触れる機会が多く、バルトークとコダーイは長年、ハンガリーの民俗音楽を研究した同志であったというのも、私としては暫く離れていた古巣に戻ったような懐かしさと喜びがあった。今回エルテ大学、ケチケメート専門大学でコダーイの弟子フォーライ・カタリンの書いたわらべうたの教科書を使って、教育がすすめられていることを知り、またその教科書を手にすることができ、40年ほど前にコダーイメソッドが日本に入ってきて、どのようにわらべうた教育がすすめられていったか、改めて研究していきたいと自分の課題も見つけることができた。

このような何にも代えがたい経験を得て、充実した研修を行えたのは、たくさんの方々のご協力とご援助があったからであり、この場を借りて、名古屋経営短期大学、および名古屋経営短期大学後援会に、心より感謝の意を表したいと存じます。どうもありがとうございました。

#### 注

- 1 カール・オルフ（1895-1982）ダルクローズのリトミックとヒンデミットの実用音楽の研究から自身の教育用作品を多く書いた。
- 2 エミール・ジャック＝ダルクローズ（1865-1950）音楽教育研究者、リトミックの提唱者
- 3 コダーイ（1882-1967）ハンガリーの作曲家、民俗音楽学者、教育家。哲学と言語学においても博士号を取得している。
- 4 マイバ保育園保育者集団著 コダーイ芸術教育研究所編訳「ハンガリー マイバの教育プログラム」明治図書出版、2001年9月
- 5 ハンガリーと札幌に研究所を置いている。このマイバの特徴はハンガリー在住の日本人保育士サライ美奈氏による『ハンガリー保育研修資料』くるみの木教育研究所、2011年1月による。
- 6 コシュート・ラヨシュ（1802-1894）オーストリア・ハンガリー二重帝国に抵抗しハンガリーの独立を目指した革命家、政治家
- 7 ベーラ・バルトーク（1881-1945）ハンガリーの作曲家、ピアノ演奏家、民俗音楽研究者。民俗音楽を収集、分析し1歳年下のコダーイとともにハンガリーを中心に東ヨーロッパを中心に、アフリカにまで足をのばし精力的に活動した。